

# これからの大学キャンパス

千葉大学キャンパス整備企画室／工学部建築学科

上野 武



# 日本建築学会におけるキャンパス計画に関する研究



2004年

CMPの  
環・論・術



2008年

大学と  
地域の連携



2011年

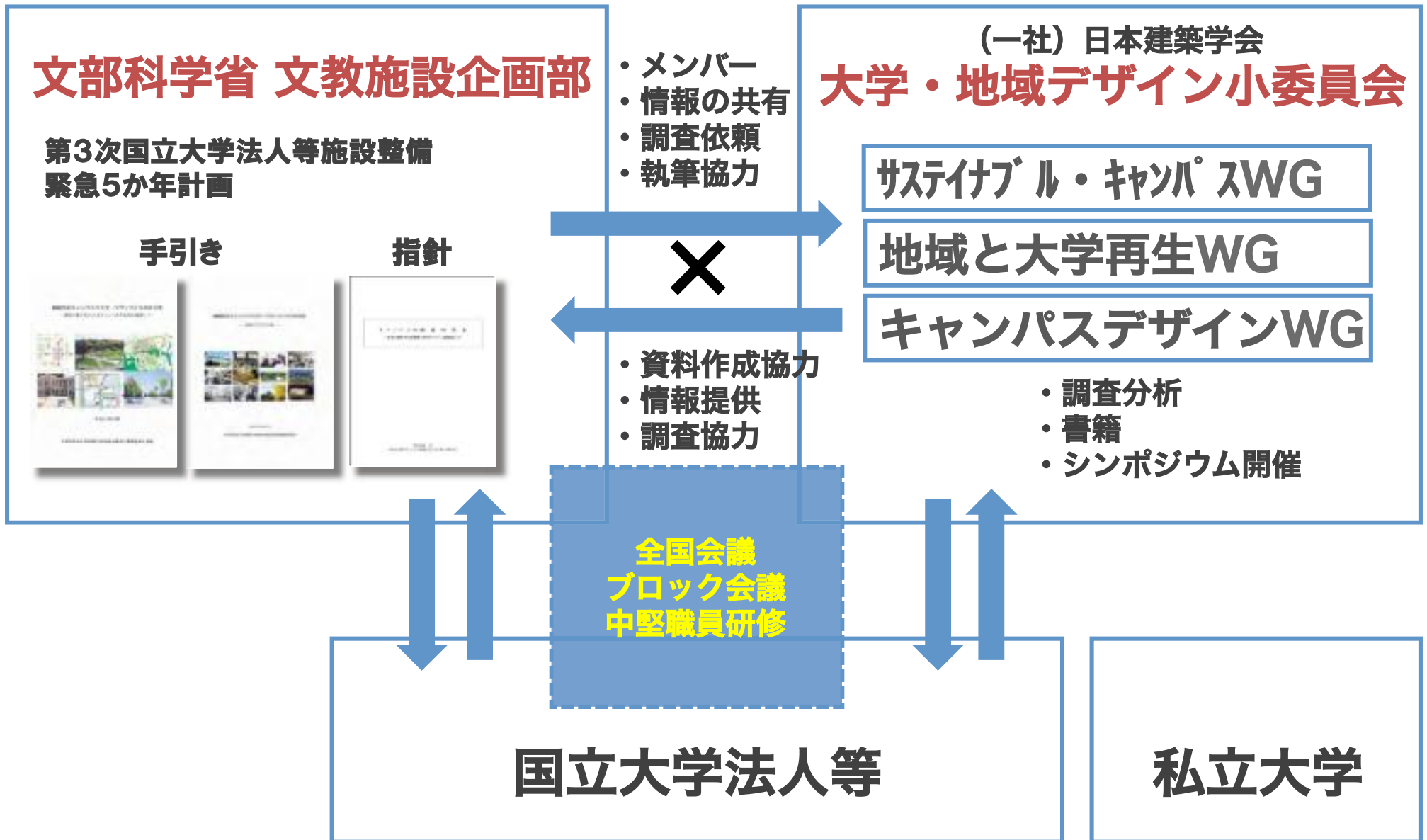
これからの  
キャンパス



2012年～

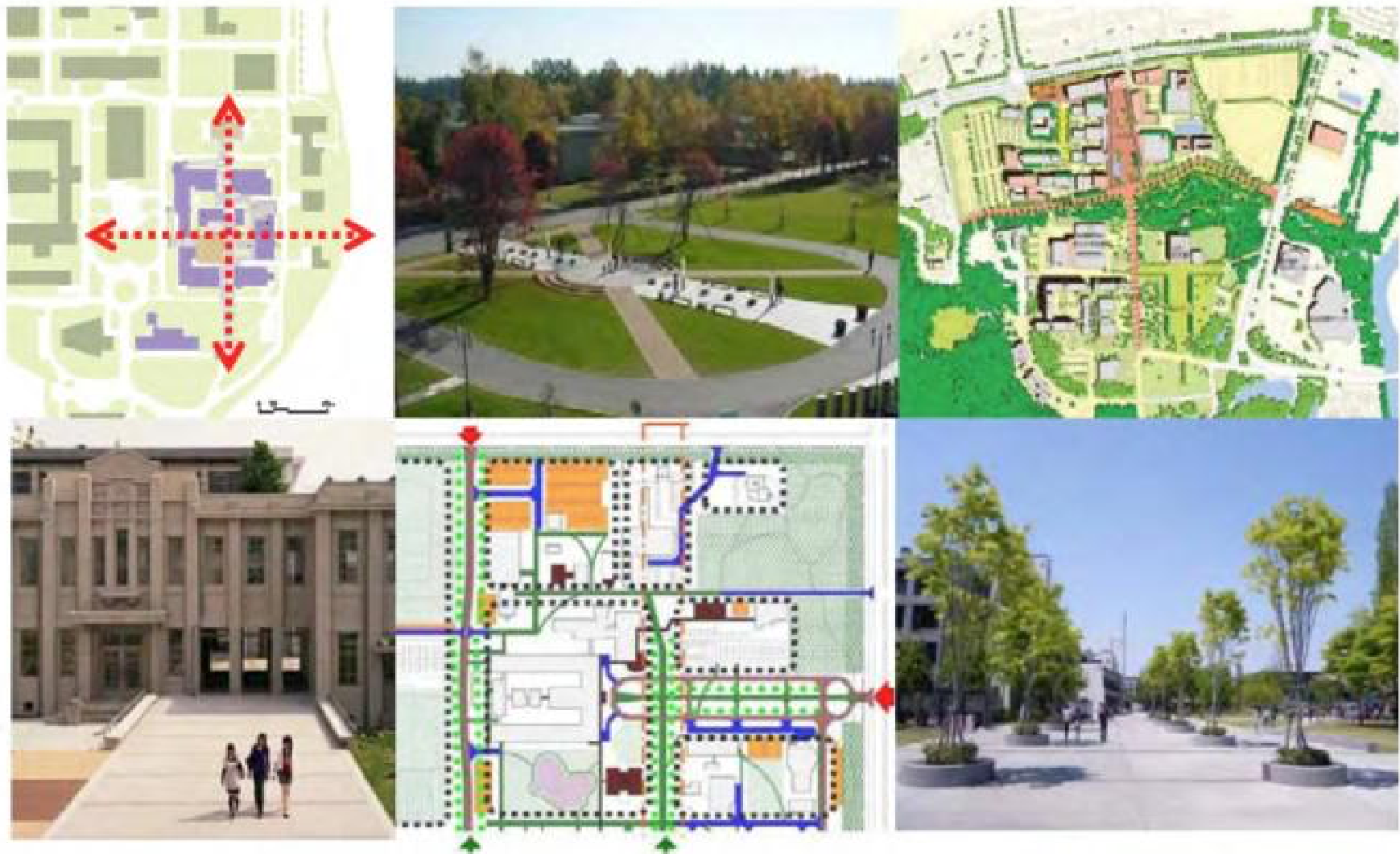
サステイナブル  
キャンパス

# 魅力的なキャンパスづくりに向けた縦横断的な連携



# 戦略的なキャンパスマスタープランづくりの手引き

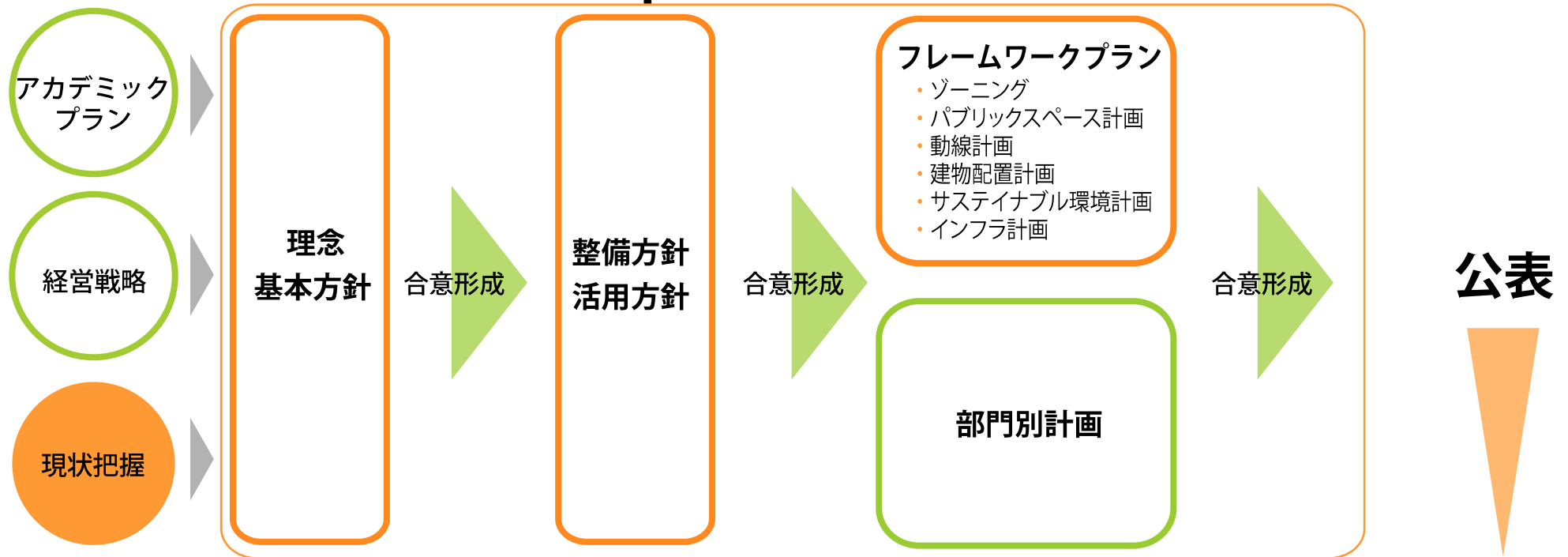
## 個性と魅力あふれるキャンパスの形成を目指して



2010年3月

# 戦略的なキャンパスマスタープランの重要性

## Campus Master Plan



### ステークホルダーの共通目標

#### ● 大学改革への対応

- 機能強化
- 大学教育の質的転換
- 地域再生の核となる大学

#### ● 社会的要請への対応

- 防災機能強化
- 地球環境問題
- 施設運営の効率化

- 教職員
- 学生
- 地域連携
- 同窓生
- 寄附・基金



～社会に開かれた個性輝く大学キャンパスを目指して～

## キャンパスの創造的再生

### ● キャンパスの質的向上

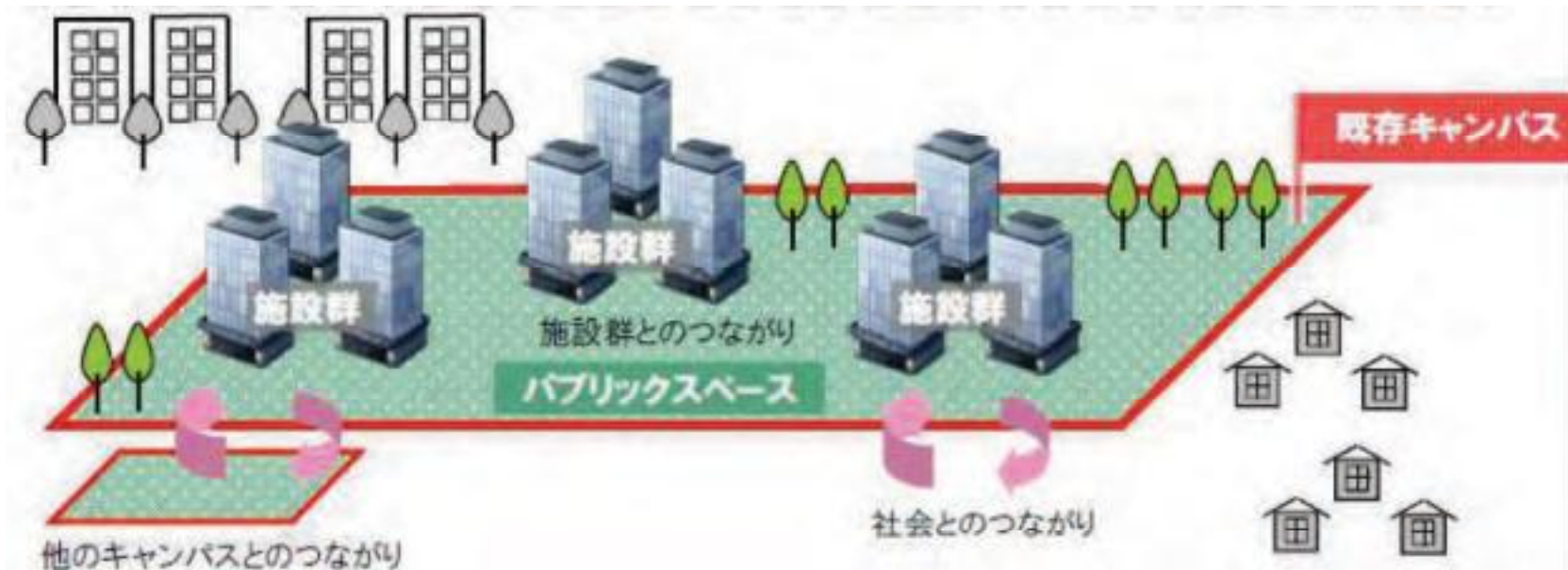
- キャンパスの機能・役割の強化
- 学修支援環境の充実
- 国際競争力の強化
- 安全・安心、持続可能なキャンパス

### ● 開かれたキャンパスの実現

- 公共性のある空間としての活用
- 地域再生の拠点形成
- 社会のモデルとしての活用

### ● 既存キャンパスの長所を活かす

### ● 大学の機能強化、個性・特色の伸張



平成25年3月 国立大学等のキャンパス整備の在り方に関する検討会

# キャンパスの創造的再生のための4つのデザイン

**戦略**  
**Strategy**

- 大学の使命を踏まえた既存キャンパスの再評価

**協働**  
**Collaboration**

- 学内外関係者との協働の仕組み

**工程**  
**Process**

- 組織的・段階的に実現するためのプロセス

**空間**  
**Space**

- キャンパスを特徴付ける空間デザイン

# キャンパスづくりの目標

## 1. 教育研究の活性化

- 質の高い教育研究環境の確保(国際水準)
- パブリックスペースの充実

## 2. 地域・社会との共生

- 連携拠点の形成
- 景観の形成

## 3. サステイナブルキャンパスへの転換

## 4. 安全・安心なキャンパスの確保



# なぜ、魅力ある施設設計がなされないか？

- 安全を確保するための耐震改修が最重要課題であった（耐震＝公共性）
- 私的空間（研究室、実験室等）への要望に応えることが第一であった
- 公的空間（共有スペース、ラーニングコモン等）への、十分な配慮がなされてこなかった



## 公的空間はキャンパスの基盤（インフラ） キャンパスを都市（まち）のように計画

- 美しいキャンパス景観
- 交流・出会いの機会誘発
- 隠れたカリキュラム醸成の場
- 寄附への動機づけ
- 地域資産
- サステイナブル社会の理想的教材

# 大学施設整備の基本視点(案)

持続可能な大学施設の設計

1. キャンパスマスタープランとの整合

2. 公的空間(パブリックスペース)の充実

3. 可変性(フレキシビリティ)の確保

4. 環境配慮型建築への転換

5. 安全・安心への配慮

社会教材としての大学施設

## 海外参考事例

### リノベーションによる創造的再生 パブリックスペースの創出





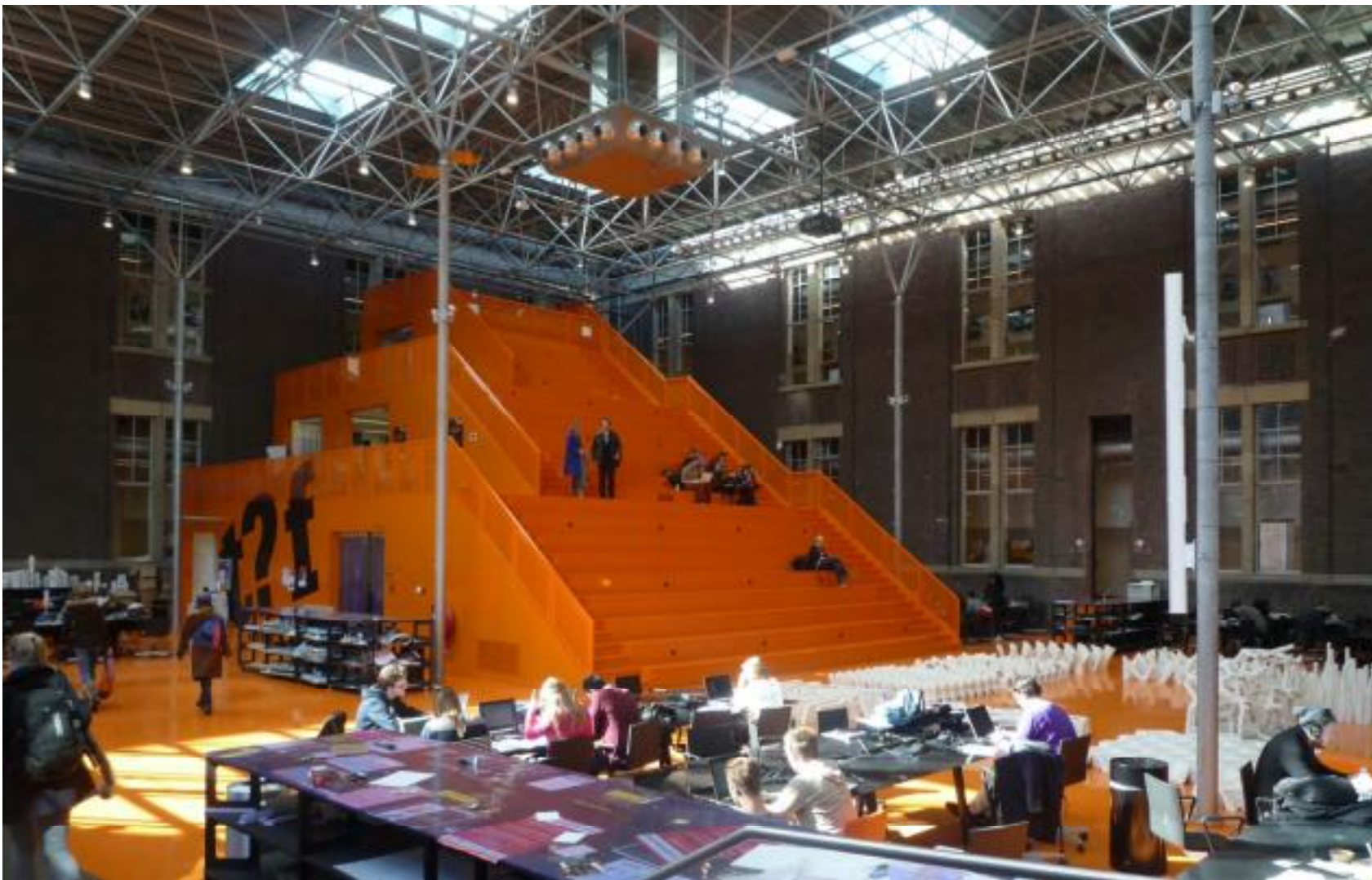
古い建物の再生と同時に、中庭に大屋根を架けワークスペースを生み出す





中庭の大屋根を架けワークスペースを生み出す





中庭の内部化によるプレゼンテーションスペースの実現

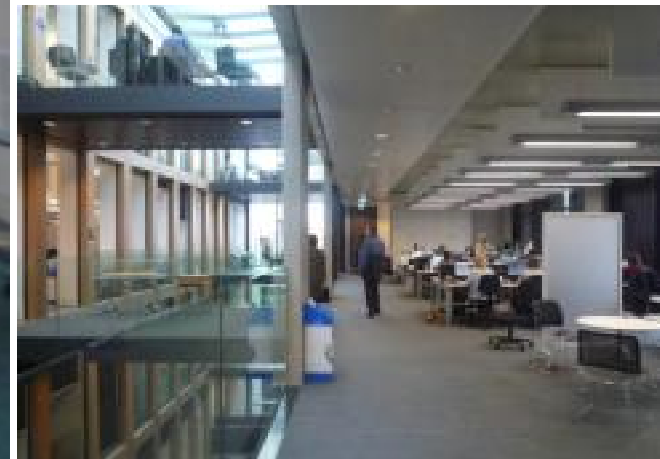


古い建物に並行して吹抜を介した新棟を増築



右側が既存棟





既存棟側を見る

新築部分



古い建物の中庭を改修して内部化

